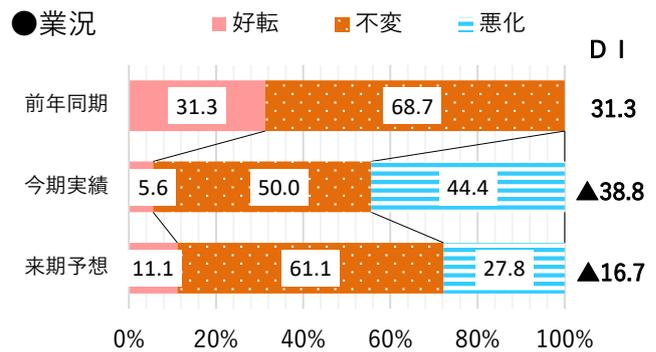


小 売 業

業況、売上、採算

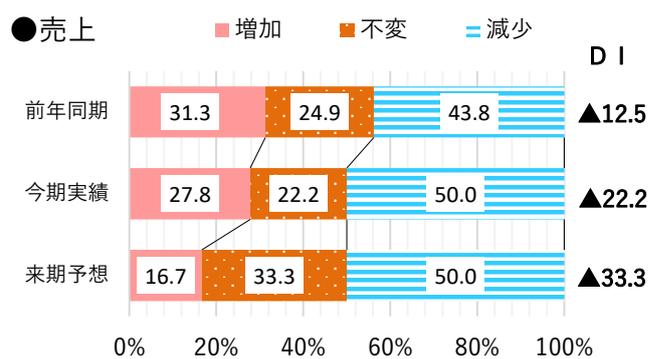
今期（2025.10～12）の業況判断DIは▲38.8で、前年同期（2024.10～12）と比べ70.1ポイントと大幅に低下しました。

来期（2026.1～3）の業況DIは今期（2025.10～12）と比べ22.1ポイント上昇すると予想しています。



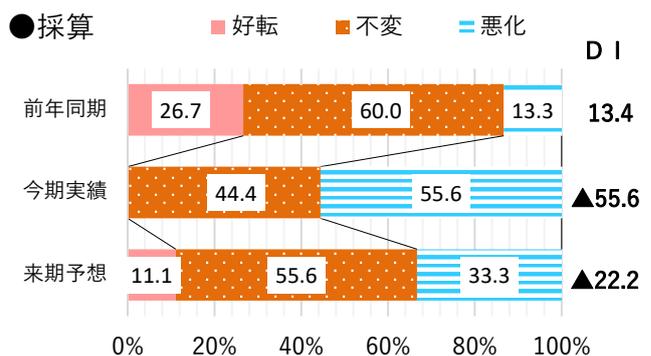
今期の売上高DIは▲22.2で、前年同期と比べ9.7ポイントと低下しました。

来期の売上DIは今期と比べ11.1ポイント低下すると予想しています。

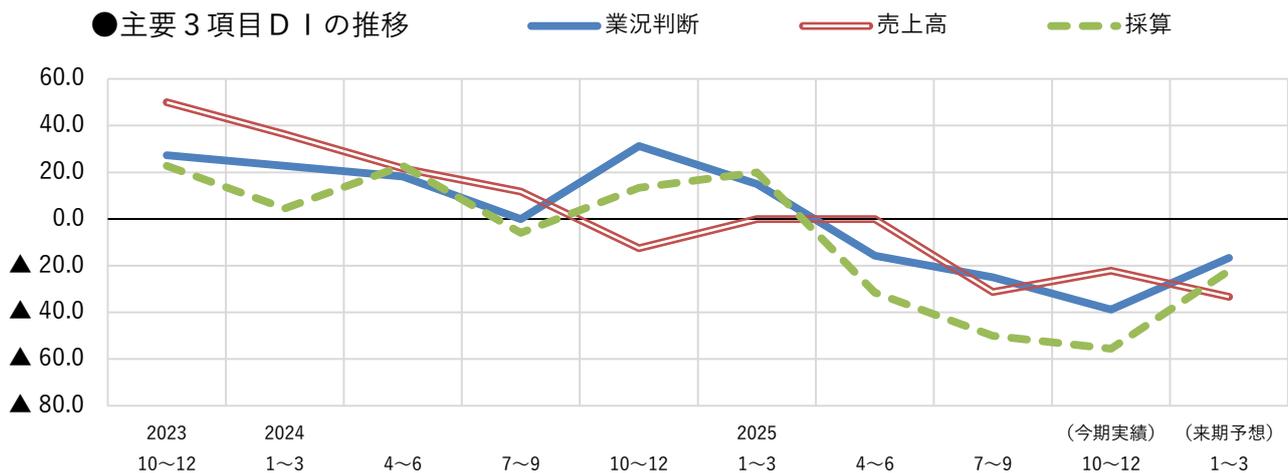


今期の採算DIは▲55.6で、前年同期と比べ69.0ポイントと大幅に低下しました。

来期の採算DIは今期と比べ33.4ポイント上昇すると予想しています。



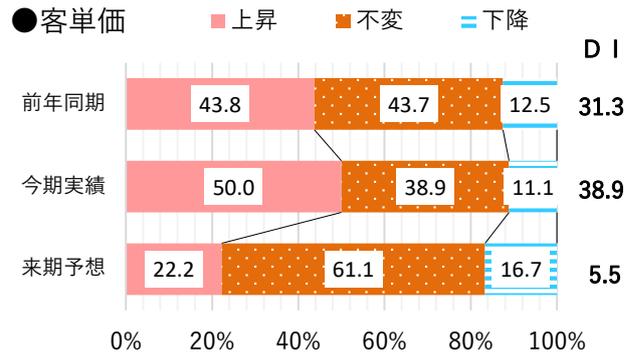
●主要3項目DIの推移



客単価、客数

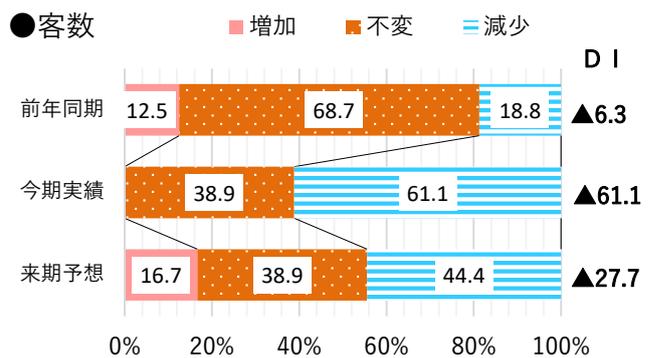
今期の客単価DIは38.9で、前年同期と比べ7.6ポイント上昇しました。

来期の客単価DIは今期と比べ33.4ポイント低下すると予想しています。



今期の客数DIは▲61.1で、前年同期と比べ54.8ポイントと大幅に低下しました。

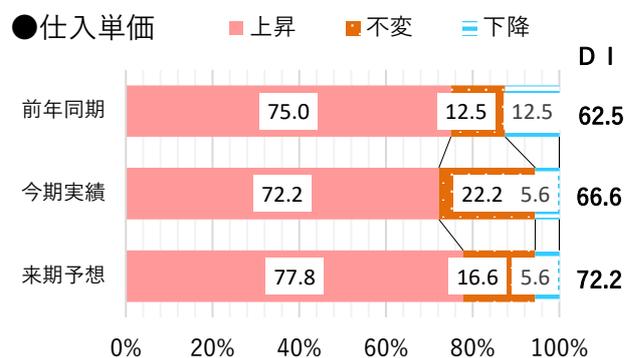
来期の客数DIは今期と比べ33.4ポイント上昇すると予想しています。



商品仕入単価、商品仕入額、商品在庫数

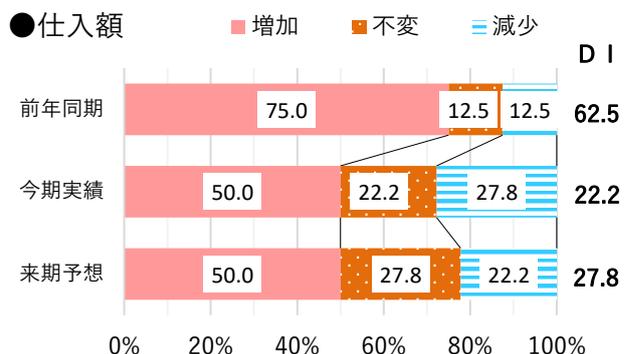
今期の仕入単価DIは66.6で、前年同期と比べ4.1ポイント上昇しました。

来期の仕入単価DIは今期と比べ5.6ポイント上昇すると予想しています。



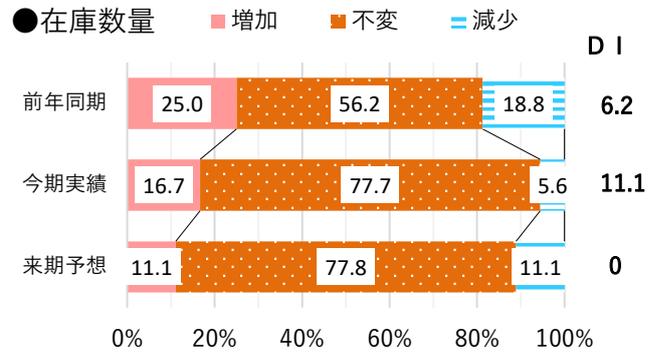
今期の仕入額DIは22.2で、前年同期と比べ40.3ポイントと大幅に低下しました。

来期の仕入額DIは今期と比べ5.6ポイント上昇すると予想しています。



今期の在庫数量DIは11.1で、前年同期と比べ4.9ポイント上昇しました。

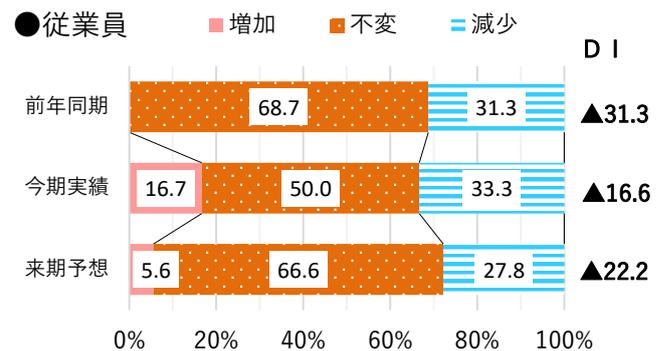
来期の在庫数量DIは今期と比べ11.1ポイント低下すると予想しています。



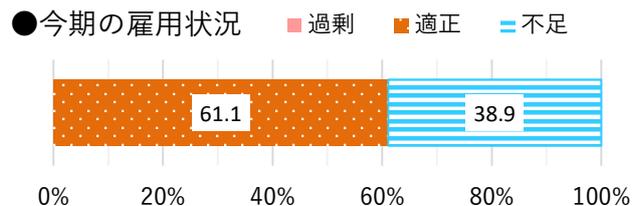
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲16.6で、前年同期と比べ14.7ポイント上昇しました。

来期の従業員DIは今期と比べ5.6ポイント低下すると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は61.1%、不足していると回答した企業の割合は38.9%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、適正である」という回答で、44.4%を占めました。

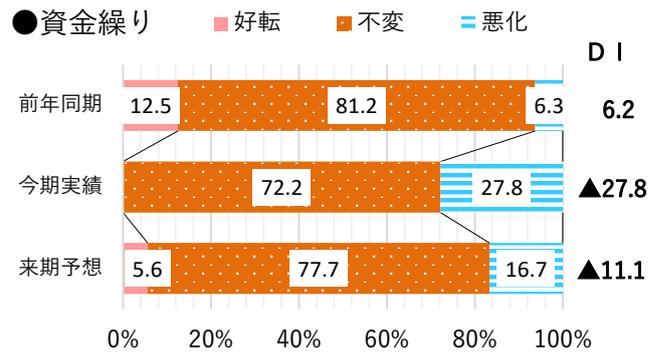
従業員数変化	雇用状況	回答割合
増加した	過剰	0%
	適正	11.1%
	不足	5.6%
不変だった	過剰	0%
	適正	44.4%
	不足	5.6%
減少した	過剰	0%
	適正	5.6%
	不足	27.8%

※回答総数18社

資金繰り、設備投資

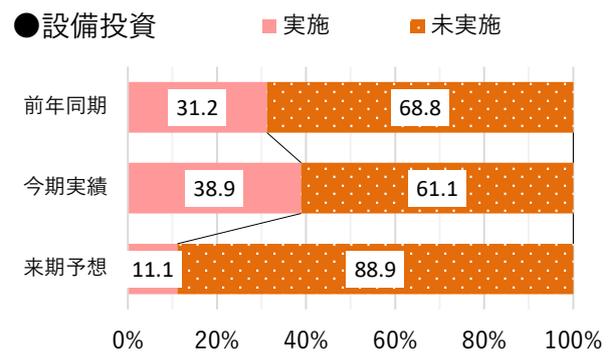
今期の資金繰りDIは▲27.8で、前年同期と比べ、34.0ポイントと大幅に低下しました。

来期の資金繰りDIは今期と比べ16.7ポイント上昇すると予想しています。



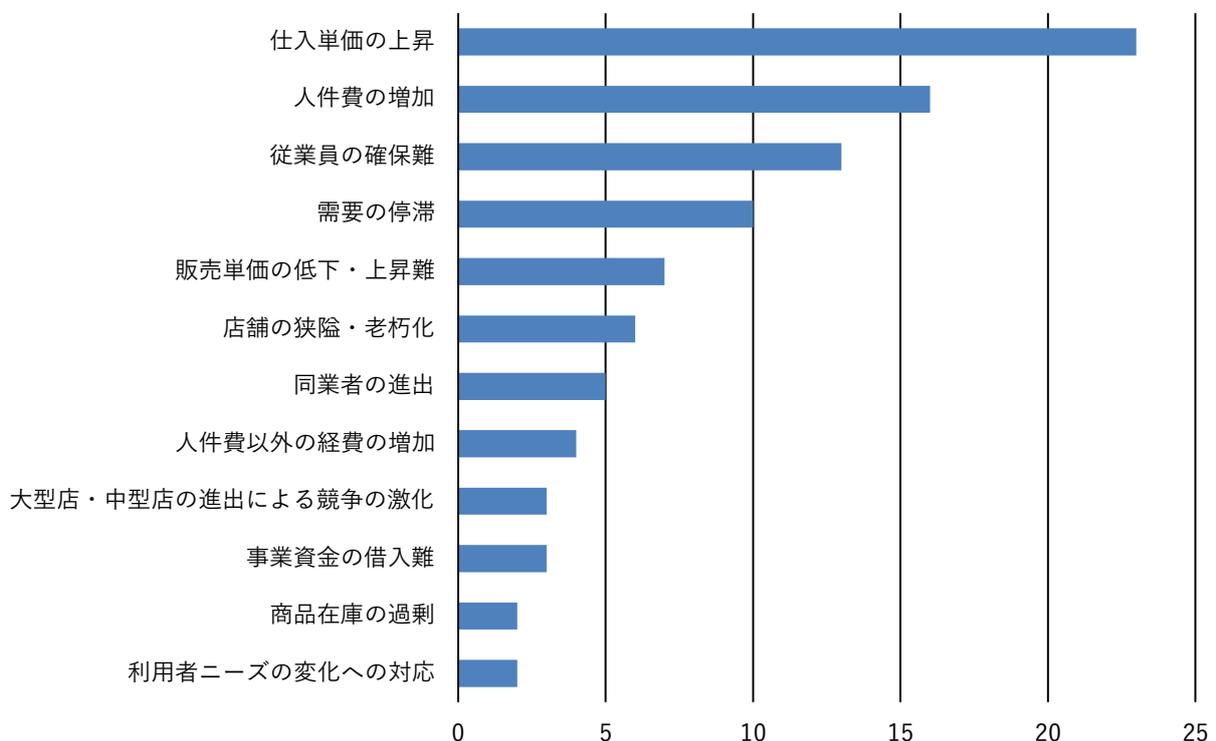
今期の設備投資は38.9%で、前年同期と比べ7.7%上昇しました。投資内容は1位が「店舗」、2位が「販売設備」「車両運搬具」「OA機器」(同位)でした。

来期は11.1%が設備投資を計画していると回答しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は、1位が「仕入単価の上昇」、2位が「人件費の増加」、3位が「従業員の確保難」の順となっています。



企業の声

[今期の業況について]

- 売上は微増したが、水道光熱費が大幅に増加したため利益が低下した。（ホームセンター）
- 最低賃金の引き上げや仕入価格の上昇で業況が悪化した。（食肉小売）
- 人口の減少により売上も減少していると思われる。（コンビニ）
- 原材料、包装資材の値上げがあった。（菓子製造小売）
- 半導体などの仕入商品の納期の長期化によって今期売上見込みが来期になる可能性がある。
（自動車小売）
- 利用客の減少と賃金の上昇により利益が減少傾向にある。（自動車小売）
- プレミアム付商品券のおかげで売上額が上がっている。（時計小売）
- 企業としてマーケットの縮小に合わせるのが難しい。（花・植木小売）

[来期の業況について]

- 原材料、包装資材の値上げが続くと予想する。（菓子製造小売）
- 物価高騰による修理控えや車両入替を抑える傾向が見受けられる。（自動車小売）
- プレミアム付商品券分の売上が無くなるので、業況が悪化すると判断している。（時計小売）
- 生産性を上げて人口減少と雇用人数の不足を乗り切る予定である。（花・植木小売）